



2024年 5月 21日
第178号

JR 東労組 Yokohama

JR 東労組横浜地本

発行人 助川 一実

編集 情宣 担当

ホームページ

<http://www.jreu-yokohama1.jp/>



申27・28号 「2024年3月ダイヤ改正検証に関する申し入れ」 (鎌倉車両センター分会・国府津車両センター分会) を行う

2024年3月ダイヤ改正では、特急「成田エクスプレス」の利便性向上や「湘南」「踊り子」の所要時間短縮、また横浜線と根岸線との直通運転拡大など、混雑緩和や利便性向上が目指されています。鶴見線ではワンマン運転も開始されました。横須賀・総武快速線においては、E235系車両を継続して投入するとされています。

ダイヤ改正は労働条件の変化点として特に重要であり「安全・健康・ゆとり」ある労働環境が実現されなければなりません。また、輸送品質を向上させるためにも、日々のメンテナンスや清掃に配慮された車両運用とすることが必要です。従って、今ダイヤ改正の検証に基づく議論内容を次期ダイヤ改正に反映し、「安全・健康・働きやすさ」が実感され、輸送品質の向上が図れるよう、首都圏本部に申し入れを行いました。

鎌倉車両センター分会

1. 横須賀線の車両運用について、運用順序段通りの流しで仕業検査が所定で9日目となるスジが複数ある。仕業検査切れ防止と、運用変更に関わる多大な労力を軽減するため、見直しを行うこと。
2. 久里浜駅および幕張車両センターから、鎌倉車両センター入区となるスジがないため、運用変更が困難である。出し替えが考慮された運用段とすること。

国府津車両センター分会

1. E257系の自動ホロ装置について、熱海駅における分割併合時の動作不具合の対策を示すこと。また関係社員への教育計画を示すこと。
2. 上野東京ラインおよび湘南新宿ラインにおいて、座面交換が対応可能な派出検査を増やすこと。また委託している派出における検修対応能力を向上させること。
3. 上野東京ラインおよび湘南新宿ラインにおいて、線路モニタリング装置の清掃・記録メディア交換を、車両所属区以外でも対応可能なようにすること。
4. 国府津車両センターと国府津駅間のタクシー便乗の今後の考え方について示すこと。
5. 休日ダイヤのE257系14両運用のW抜きについて、国府津車両センターへの入区を早めるか、役付けを他区所に振ること。
6. 出区列車の車両センター発時刻については、3分間隔が連続しないよう、最短4分以上の間隔を空けて設定すること。
7. 相模線の車両運用について、湘南相模・統括センター（茅ヶ崎駅）構内における臨時仕業検査の施行可能運用を増やすこと。
8. 相模線の車両運用について、国府津車両センター入区となるスジは、当日朝に湘南・相模統括センター（茅ヶ崎駅）構内を出区させるよう改善すること。
9. 平日2847Y入区～2860Y出区の運用について、国府津車両センターへの入区時間が遅いうえ、出区点検開始時刻が早い。車両修繕の間合いの拡大を図ること。

現場の声をもとに、ダイヤ改正の検証議論を行っていきます！